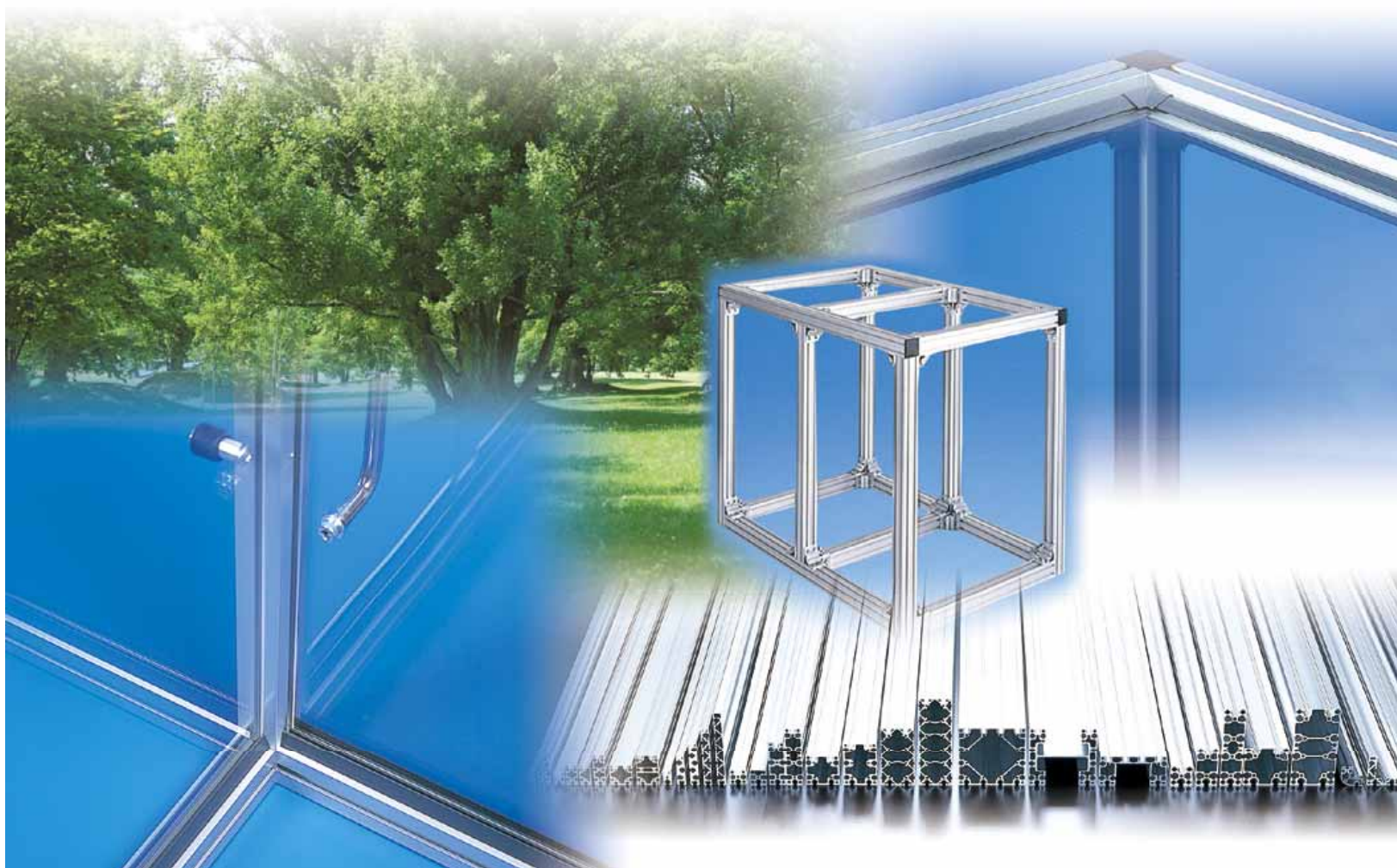


第41期定時株主総会参考資料

JASDAQ

証券コード:5742



2012年6月23日

エヌアイシ・オートテック株式会社

1	経営指標等の推移	P 4
2	売上高及び経常利益推移	P 5
3	第41期 セグメント別売上高の状況	P 6
4	業績等の推移	P 7
5	貸借対照表（平成24年3月31日現在）	P 9
6	損益計算書（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）	P 11



NIC Direct —エヌアイシ ダイレクト—

2012年4月 メーカー直販WEBサイト
「NIC Direct(エヌアイシ ダイレクト)」
オープンいたしました。

長さ	1000	mm	数量	1	円
※送料は2100円～4000円の範囲で入力してください ※数量が0の場合は必ず0で入力してください					
AFS-6000-B	1000mm	1ヶ	金額(税込)	¥3,071	

※上記金額は消費税の計算上、カート内の金額と異なる場合があります。正式な金額は「カート」内をご確認ください。

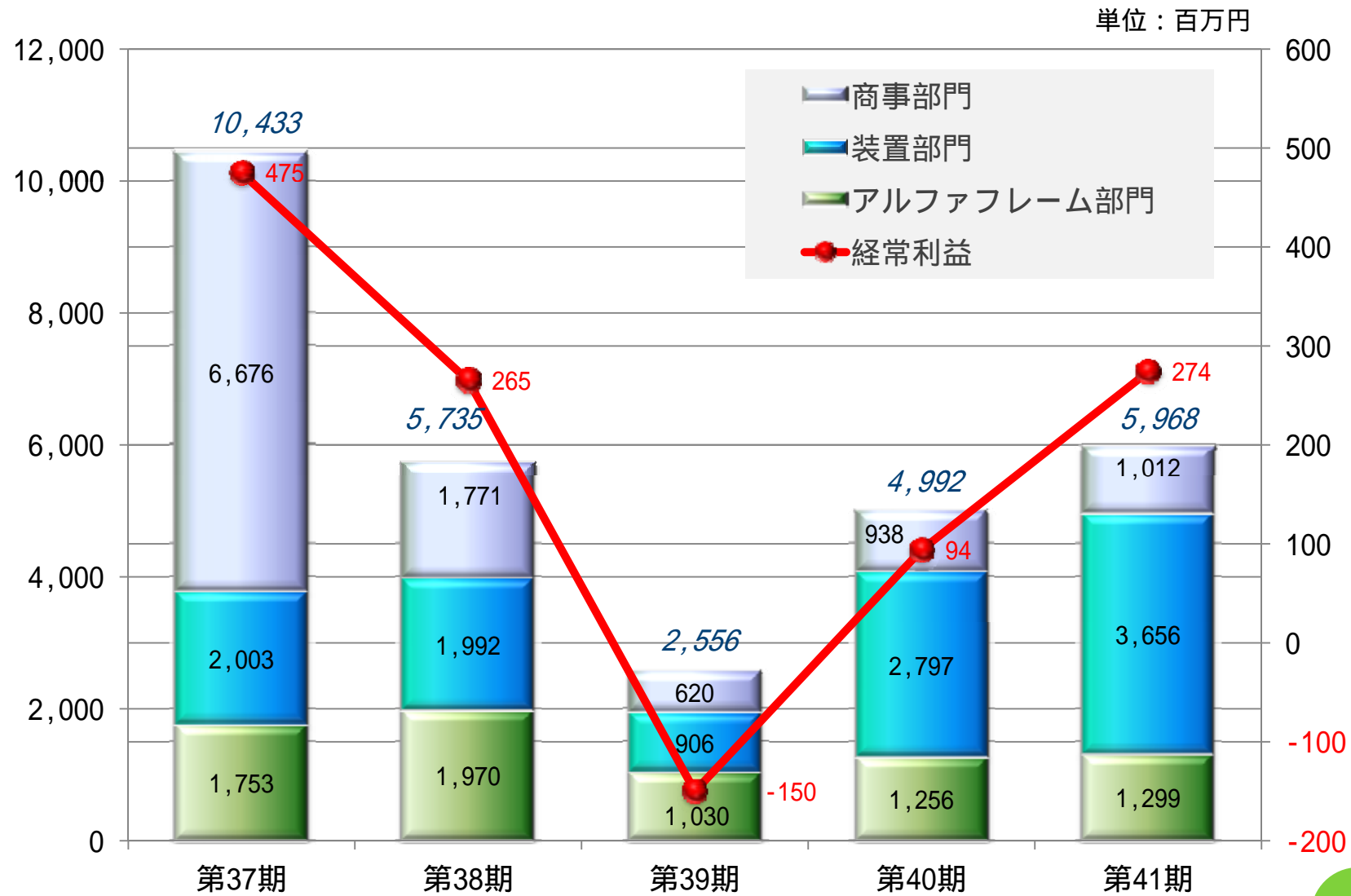
URL <http://www.nic-direct.jp/>

1 . 経営指標等の推移

回 次		第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
決 算 年 月		平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月
売 上 高	(千円)	10,433,805	5,735,657	2,556,589	4,992,882	5,968,462
経 常 利 益	(千円)	475,407	265,456	150,895	94,065	274,775
当 期 純 利 益	(千円)	268,016	164,394	74,007	46,958	152,861
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)					
資 本 金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発 行 済 株 式 総 数	(株)	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
純 資 産 額	(千円)	2,868,922	2,938,177	2,843,160	2,886,368	3,002,912
総 資 産 額	(千円)	6,084,241	3,973,451	3,535,054	5,495,341	4,976,456
1 株 当 た り 純 資 産 額	(円)	52,651.40	53,922.40	52,178.61	52,971.58	55,110.43
1株当たり配当額(内、1株当たり中間配当額)	(円)	1,000(-)	1,000(-)	700(-)	800(-)	1,200(-)
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	(円)	4,910.75	3,017.02	1,358.20	861.79	2,805.36
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)					
自 己 資 本 比 率	(%)	47.1	73.9	80.4	52.5	60.3
自 己 資 本 利 益 率	(%)	9.6	5.7	2.6	1.6	5.2
株 価 収 益 率	(%)	7.2	6.2		21.8	12.0
配 当 性 向	(%)	20.4	33.1		92.8	42.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,018,820	492,964	234,777	190,088	875,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	190,473	46,062	39,679	60,679	57,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	120,533	74,220	54,241	37,933	43,419
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	1,003,454	432,730	573,586	284,885	1,059,305
従業員数(外、平均臨時雇用者数)	(名)	143(17)	149(23)	137(8)	140(15)	141(17)

- (注) 1.当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2.売上高には、消費税等は含まれておりません。
3.持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。
4.第37期の1株当たり配当額1,000円には、創業80周年記念配当150円を含んでおります。
5.第41期の1株当たり配当額1,200円には、創業85周年記念配当300円を含んでおります。
6.第37期、第38期、第40期及び第41期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
7.第39期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
8.従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

2. 売上高及び経常利益推移

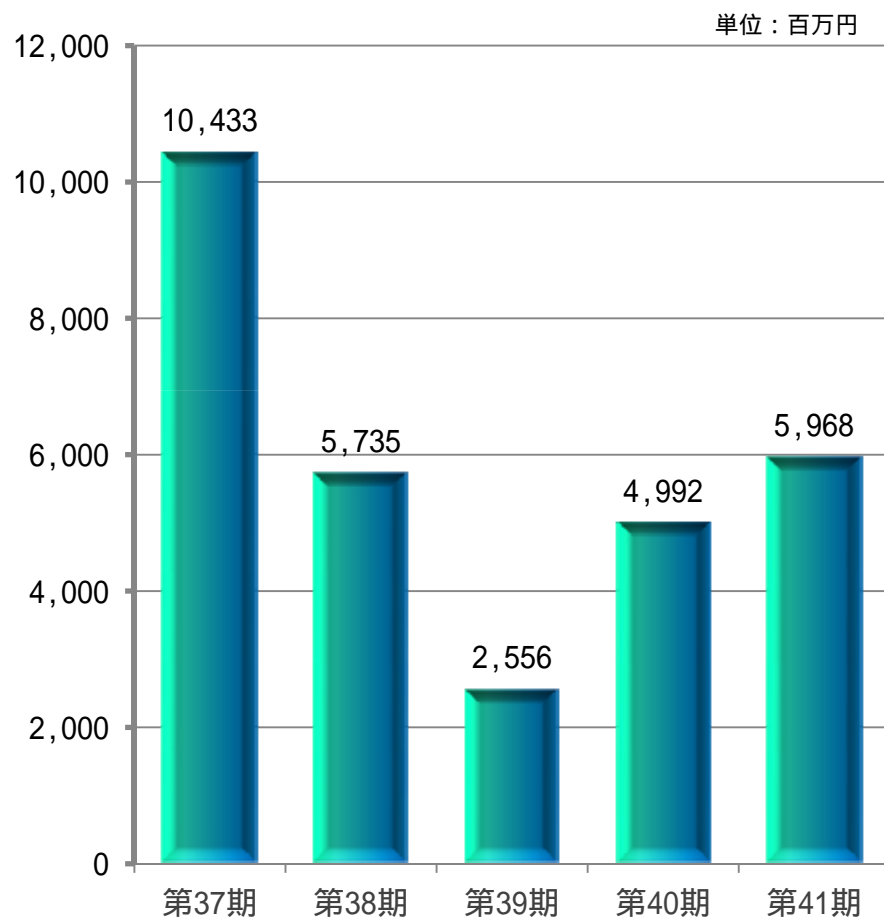


3 . 第41期 セグメント別売上高の状況

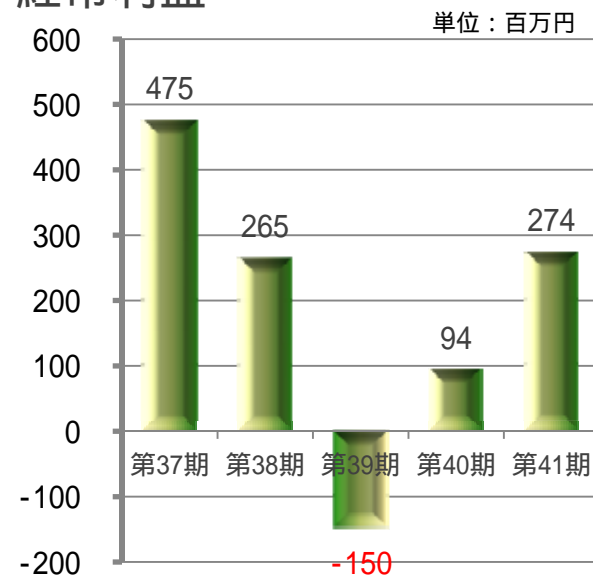
アルファ フレーム部門	<p>アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキング システム™」による設計・組立工数削減の提案活動に注力してきました。国内外の天災による外的環境の激動がありましたが、年度を通して当部門は堅調に推移いたしました。これはアルファフレームシステムをご利用いただいているお客様が、特定業種に偏っておらず、多様な業種であることによるもので、半導体及びフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造関連企業への販売量の落ち込みを自動車部品製造関連企業への販売量がカバーする結果となりました。また前事業年度より取り組んでまいりました「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した大型構造物案件も 受注に成功し、売上高に貢献いたしました。この結果、当部門の売上高は1,299百万円（前期比3.4%増）となりました。</p>
装置部門	<p>装置部門におきましては、継続的に受注を確保していた海外向けFPD製造装置用カスタムクリーンブースは、FPD業界の不振により受注が減少いたしました。複数の自動車部品製造関連企業から海外向け大型機械設備や洗浄、搬送装置等のFA装置を多数受注いたしました。さらに工作機械業界の復調に伴って、工作機械に組み込まれるアルミ構造物の受注量も増加傾向となり、売上高は大幅に伸長いたしました。この結果、当部門の売上高は3,656百万円（前期比30.7%増）となりました。</p>
商事部門	<p>商事部門におきましては、機械部品製造業界が好調であったことより、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の受注が堅調に推移し、海外向け生産機械設備の受注を確保したこともあり、売上高は伸長いたしました。この結果、当部門の売上高は1,012百万円（前期比7.9%増）となりました。</p>

4 . 業績等の推移

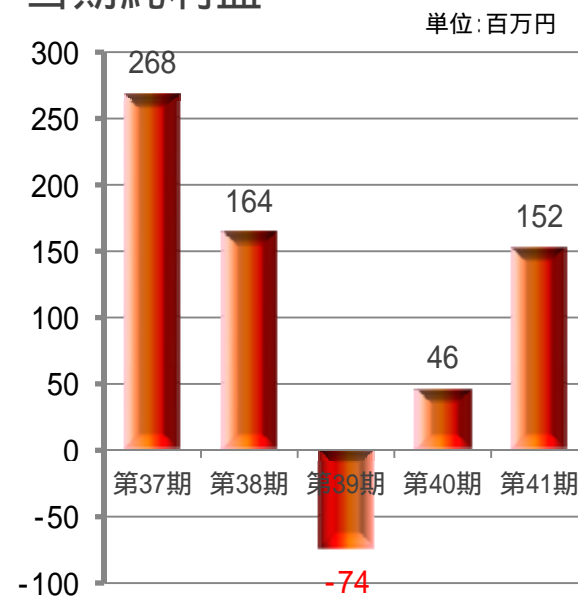
売上高



経常利益

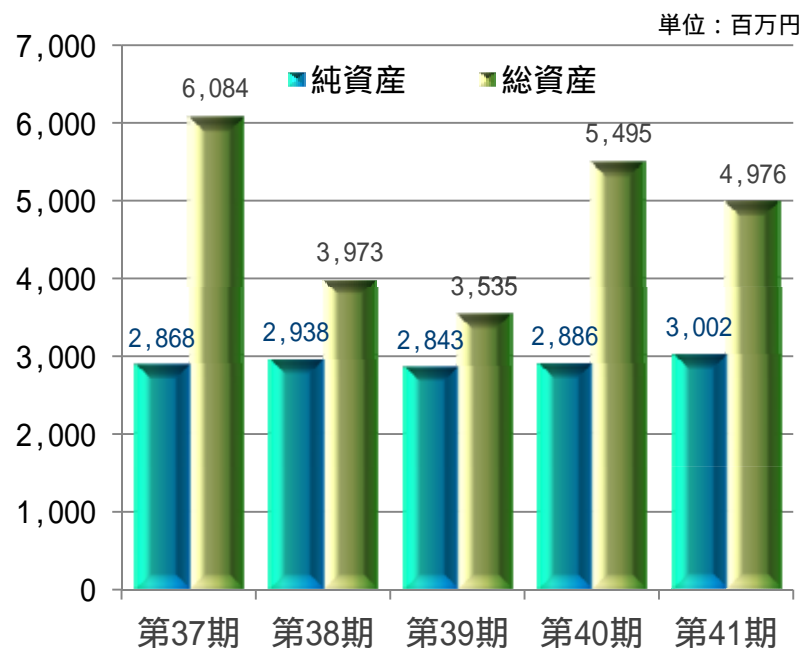


当期純利益



業績等の推移

純資産額/総資産額



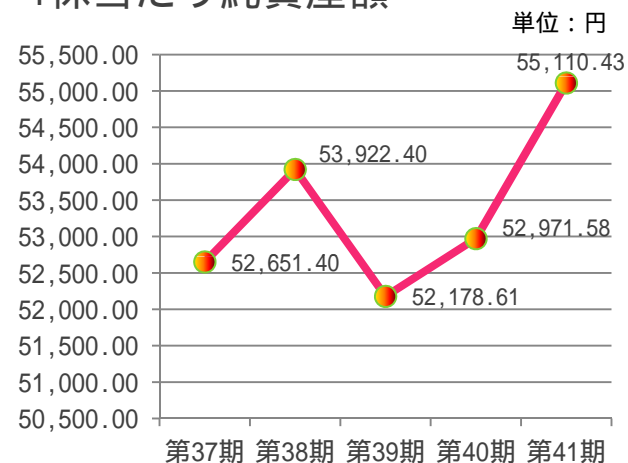
財政状態の分析

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ518百万円減少し、4,976百万円となり、負債合計は、前事業年度末に比べ635百万円減少し、1,973百万円となりました。

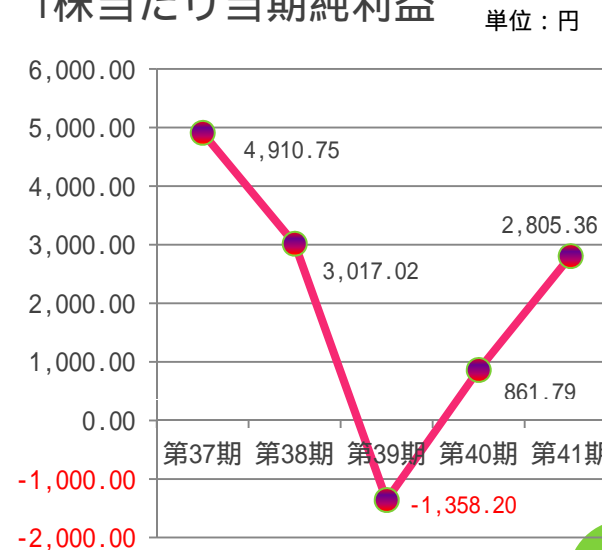
正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は1,492百万円であり、流動比率は183.8%であります。

なお、当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べ116百万円増加し、3,002百万円となりました。自己資本比率は60.3%となっております。

1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



5 . 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	3,274,587	流 動 負 債	1,781,979
現金及び預金	1,063,305	支払手形	1,095,097
受取手形	606,828	買掛金	338,222
売掛金	1,021,598	リース債	15,020
商品及び製品	127,334	未払金	65,852
仕掛品	181,276	未払法人税等	112,876
原材料及び貯蔵品	213,857	未払消費税	21,998
前払費用	4,410	預り金	10,189
繰延税金資産	3,037	未払消費税等	61,623
その他の資産	50,919	製品保証引当金	21,417
貸倒引当金	2,173	賞与引当金	39,322
	153	その他	358
固 定 資 産	1,701,869	固 定 負 債	191,564
有 形 固 定 資 産	1,188,498	リース債	57,118
建物	561,031	退職給付引当金	133,002
構築物	7,281	資産除去債務	1,443
機械及び装置	43,280		
車両運搬具	658	負 債 合 計	1,973,544
工具器具及び備品	50,196		
土地	456,904	純 資 産 の 部	
リース資産	69,146	株 主 資 本	2,938,020
無 形 固 定 資 産	18,856	資本金	156,100
ソフトウェア	16,909	資本剰余金	146,100
その他の資産	1,947	資本準備金	146,100
投 資 其 他 の 資 産	494,514	利 益 剰 余 金	2,670,230
投資有価証券	202,505	利益準備金	8,750
出資	3,370	その他利益剰余金	2,661,480
繰延税金資産	11,896	別途積立金	1,430,000
保険積立	259,451	繰越利益剰余金	1,231,480
会員の権利	1,800	自 己 株 式	34,410
その他の権利	17,091	評価・換算差額等	64,892
貸倒引当金	1,600	その他有価証券評価差額金	64,892
		純 資 産 合 計	3,002,912
資 産 合 計	4,976,456	負 債 及 び 純 資 産 合 計	4,976,456

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

流動資産	<p>当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べ532百万円減少し、3,274百万円となりました。</p> <p>これは主に、大型装置案件の売上増加により、現金及び預金が774百万円、受取手形が109百万円、それぞれ増加した一方で、同大型装置案件の売掛金の回収が進んだことにより、売掛金が1,421百万円減少したことなどによります。</p>
固定資産	<p>当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べ13百万円増加し、1,701百万円となりました。</p> <p>これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却による減少85百万円があった一方で、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加78百万円、保有株式の時価上昇等による投資有価証券の増加10百万円、及び保険積立金の増加23百万円があったことなどによります。</p>
流動負債	<p>当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べ669百万円減少し、1,781百万円となりました。</p> <p>これは主に、大型装置案件の仕入債務の支払いにより、支払手形が351百万円増加した一方で買掛金が1,232百万円減少し、また、業績の回復により、法人税等及び消費税等の未払残高が165百万円増加したことなどによります。</p>
固定負債	<p>当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ33百万円増加し、191百万円となりました。</p> <p>これは主に、長期リース債務が23百万円、退職給付引当金が10百万円、それぞれ増加したことなどによります。</p>
純資産	<p>当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比べ116百万円増加し、3,002百万円となりました。</p> <p>これは主に、当期純利益の計上等による利益剰余金の増加109百万円があったことと、保有株式の時価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が7百万円増加したことによります。</p>

6 . 損益計算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		5,968,462
売 上 原 価		4,837,898
売 上 総 利 益		1,130,564
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		862,232
営 業 利 益		268,331
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	177	
受 取 配 当 金	2,450	
仕 入 割 引	2,054	
そ の 他	1,967	6,650
営 業 外 費 用		
売 上 割 引	62	
手 形 売 却 損	143	205
経 常 利 益		274,775
特 別 利 益		
受 取 保 険 金	4,387	4,387
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 去 損	4,413	4,413
税 引 前 当 期 純 利 益		274,749
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	113,569	
法 人 税 等 調 整 額	8,318	121,888
当 期 純 利 益		152,861

損益計算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

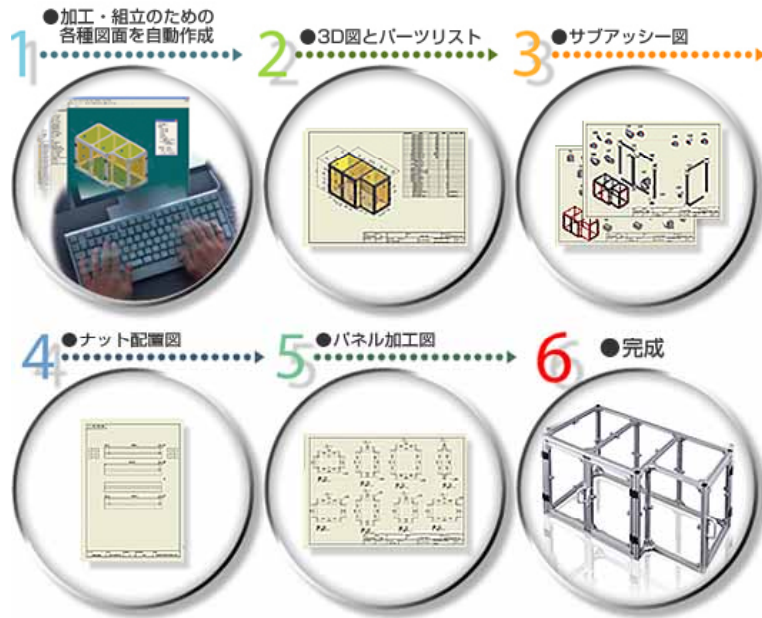
売上高	装置部門において、大型機械設備や洗浄・搬送装置等のF A装置を多数受注したことにより、売上高は大幅に伸長いたしました。 アルファフレーム部門においては、主力商品である「アルファフレームシステム」の、自社開発の拡販ツールを活用した既存顧客の囲い込みと新規顧客の開拓を継続し堅調に推移いたしました。 商事部門においては、工業用砥石や消耗品及び機械設備の受注も堅調に推移いたしました。 これらの結果、売上高は5,968百万円（前期比19.5%増）となりました。
売上総利益	当事業年度は、各セグメントの売上高が堅調に推移し、また製造コストの削減も推進したことにより、売上総利益は1,130万円（前期比24.5%増）となりました。
販売費及び 一般管理費	継続的にコスト削減の徹底を行いつつ、効果的な投資活動を推進した結果、862百万円（前期比4.6%増）となりました。
営業利益 経常利益 当期純利益	当事業年度の業績は、各セグメントの増収と製造コストの削減により、営業利益が268百万円（前期比219.4%増）、 経常利益が274百万円（前期比192.1%増）、 当期純利益が152百万円（前期比225.5%増）となりました。

設計・組立サポートサービス PAT.P
ALFA FRAME SYSTEM

KAKCHAR™

設計時間は1/3に短縮！
 フルサポートで、総作業時間は半減！

*標準品は1/5以下。*製作物により短縮時間は異なります。



マーキングシステム™ PAT.P

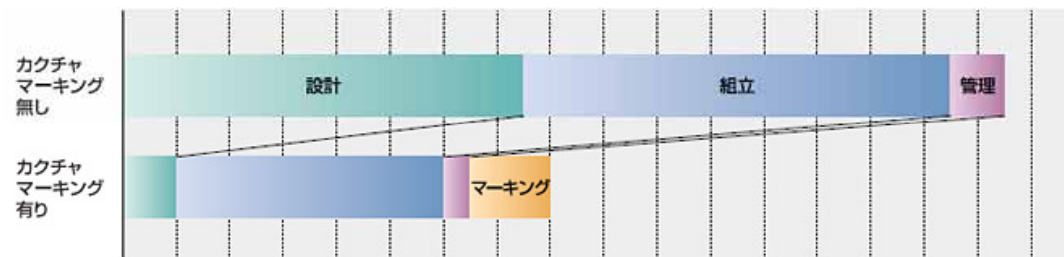
組立てに必要な情報を
 直接フレームにプリントすることで
 作業時間を大幅削減！！

寸法測定不要 世界初の組立省力化システム
 取付け位置を教えてくれるフレーム



カクチャ™+マーキングシステム™の相乗効果

装置カバー製作時の金額イメージ(物件の特性により構成比率、削減率は異なります)



本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料に対するお問合せは、以下の管理グループにてお願い申し上げます。

<エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部管理グループ>

TEL : 076-425-0738

FAX : 076-422-2712

Mail : ir@nic-inc.co.jp

URL : <http://www.nic-inc.co.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社

東京本社	/ 〒135-0063	東京都江東区有明3-7-26有明フロンティアビルB棟	TEL : 03-5530-8066
富山本社	/ 〒930-0034	富山県富山市清水元町7-8	TEL : 076-425-0738
流杉工場	/ 〒939-8032	富山県富山市流杉255	TEL : 076-422-2578
立山工場	/ 〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398-176	TEL : 076-463-5578
アルファーム関西	/ 〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西2-4-29	TEL : 06-6747-2212
アルファーム九州	/ 〒837-0907	福岡県大牟田市四箇新町1-2	TEL : 0944-41-7707

ご注意 著作権 © 2010 NIC AUTOTEC, INC.

WARNING : All Rights Reserved . Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 2010 NIC AUTOTEC, INC. ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM ,

ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など産業財産権により保護されております。